

委員派遣実績報告書

令和7年11月17日

米子市議会議長様

民生教育委員会

委員長 松田真哉



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する先進地事例について調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

委員会名	民生教育委員会
期 日	令和7年11月10日から令和7年11月12日まで
視 察 先 及び視察 内 容	11月10日（月） 福岡県飯塚市 調査項目：小中一貫教育について 11月11日（火） 福岡県みやま市 調査項目：生ごみの資源循環の取組 （家庭系紙オムツのリサイクルの取組を含む） 11月11日（火） 福岡県筑後市 調査項目：リユース（再使用）の取組について 11月12日（水） 福岡県宗像市 調査項目：子どもの自立サポートセンター ホープについて 病児保育のお迎えサービスについて
参加者名	【委員長】松田真哉 【副委員長】門脇一男 【委員】伊藤ひろえ 岡田啓介 又野史朗 矢田貝香織 吉岡古都 渡辺穰爾 【随行】議会事務局議事調査担当 係長 田淵晴之
経 費	610,580円
委 員 会 所 感	別紙のとおり

民生教育委員会行政視察報告

◆ 福岡県飯塚市

【日時】 令和7年11月10日（月） 14:15～

【会場】 飯塚市立小中一貫校額田校

【内容】 小中一貫教育について

【説明者】 飯塚市立小中一貫校額田校 校長 宮本厚司

飯塚市教育委員会 教育部 学校教育課 指導主事 野相康幸

飯塚市教育委員会 教育部 学校教育課 主任指導主事 金城太郎

1 市の概要

令和7年10月末現在 人口：123,525人 面積：213.96km²

2 視察の目的

令和13年開校予定の本市初の義務教育学校の運営検討に向け、また本市教育政策の参考にするため、先行自治体である飯塚市の小中一貫教育の仕組みや教育課程、特色ある取組を把握するため。

3 説明要旨

飯塚市は、全市的に9年間の連続した学びを実施し、英語・キャリア・STEAMを重点施策として推進している。乗り入れ授業や地域連携による体験学習など、一貫教育を生かした多様な取組を展開している。

4 主な質疑応答

乗り入れ授業の教科や実施状況、スパイラルタイムの内容、管理職4名体制の運用、規律面の改善効果などを確認した。異年齢交流や接続の良さが生徒の落ち着きや学習支援の充実に寄与しているとの説明を受けた。

5 委員の考え方・本市への参考点

小中の節目が薄れる課題はあるが、交流促進や学校内の連携強化など効果が大きいと感じた。特にスパイラルタイム等の支援活動や乗り入れ授業は、本市義務教育学校における学びづくりや本市教育政策の参考になった。

◆ 福岡県みやま市

【日時】 令和7年11月11日（火）10：30～

【会場】 バイオマスセンター 「ルフラン」

【内容】 生ごみの資源循環の取組（家庭系オムツのリサイクルの取組を含む）

【説明者】 みやま市 環境政策課 脱炭素社会推進係 主査 副島智夫

1 市の概要

令和7年3月末現在 人口：34,026人 面積：105.21km²

2 視察の目的

地球温暖化対策が必要となった今、時代にあったごみ政策を学ぶため

3 説明要旨

(1)「資源循環の環」

焼却等で“処理”していた「家庭や事業所の生ごみ」を、バイオマスセンターにより“資源化”することで、市内に※『資源循環の環』を形成している。

※「生ごみの分別・回収」⇒「発酵、液肥化」⇒
「液肥の農地還元」⇒「地元農産物の供給」という
『資源循環の環』

その背景に、2011年の東日本大震災に伴う原子力発電所の事故があり、再生可能エネルギー導入可能性調査を行ったことが取組の始まりである。2014年「みやま市バイオマス都市構想」を発表し、2018年12月のバイオマスセンター竣工までの経緯の説明を受けた。

(2)「バイオマス産業都市構想」の策定

バイオマスセンターの効果について、①10年で約半分となった焼却ごみの削減による地球温暖化対策、②国の目標を上回るCO₂排出量の削減による地球温暖化対策、③センターの使用電力の約4割を賄う電力の生成と、

温熱は発酵槽や洗浄水の加温に使用、④ごみ処理コストの削減、⑤液肥は無料としており、米農家の散布手数料は全国比1/10(1,100円/10a)で、循環型農業の推進に貢献している、⑥非常勤を含む45人の雇用創出、⑦廃校(予定であった)小学校のグラウンドにバイオマスセンター“ルフラン”を建設、旧校舎は人が集まる賑わいの施設となっている、⑧「ワンヘルス認定啓発施設」に認定され、人と動物の健康と、環境の健全性を一つのものと捉え、みんなで守ろうとの意識醸成に努めている。

(3)バイオマスセンター“ルフラン”の施設内見学

紙オムツは良いパルプを使用しており、紙オムツのリサイクルは、隣町での取り組みがあったことと、隣市に工場があったことが、みやま市の取組の背景として大きい。モデル事業から取り組んでおり、メリットしかない。また、24時間投入可能な回収BOXの配置場所を増やしてほしいとの声がある。

4 主な質疑応答

- (1)各家庭に配布された「生ごみ分別バケツ」の運用開始後、1週間に2回の地域の「生ごみ収集桶」に出すことが困難な高齢者等のごみ出しについて

⇒個別収集している

- (2)バイオマスセンターの建設整備費について

⇒約21億円かかった。バイオマスセンターでできた液肥の97%~100%を使ってもらえている点について、評価いただけるものと考えている。

5 考察

- (1)東日本大震災の電力消失や生活混乱を我が地域の事として捉え、行動した行政職員の意識の高さに感銘を受けた。

- (2)施設計画を基にバイオマスセンターの設置場所には旧小学校を選定し、1年かけて地元住民の理解を得ることに務められた苦勞を推察した。
- (3)生ごみを捨てない循環型のライフスタイルを目指した取組が定着するまでの地道な取組や、市民の資源循環のまちづくりへの意識醸成は自治体職員発の取組であることを踏まえ、本市における議員として職員とともに環境政策の取組として役割を果たしたいと強く感じた。
- (4)使用済み紙オムツの多くが焼却されている中、使用後の商品が環境にもたらす負荷を軽減するため、メーカーも紙おむつのリサイクル技術の向上に動き出している。本市も社会の動きに目を向け、民間の動きと協働するようなチャンスを生み出していく積極的な動きが必要ではないかと感じた。
- (5)紙オムツごみ量削減によるごみ処理費用・環境負荷低減に向け、本市としてできることから取り組むことの大切さを痛感した。鳥取県西部広域の一般廃棄物処理施設の整備に向けた議論が進む中で、米子市内の介護事業所の紙オムツ処理機利用の実証事業や、近隣の町の紙オムツ燃料化事業についても見識を深めたい。

◆ 福岡県筑後市

【日時】令和7年11月11日（火）14：00～

【会場】筑後市役所

【内容】リユース（再使用）の取組について

【説明者】筑後市 市民生活部 かんきょう課 課長 佐々木 稔

筑後市 市民生活部 かんきょう課 係長 日野 武範

1 市の概要

令和7年10月末現在 人口：48,890人 面積：41.78km²

2 視察の目的

粗大ごみ増加への対応やリユース推進に先進的に取り組む筑後市の施策を学び、本市の循環型社会形成や環境政策の充実に資する手法・市民周知の在り方を把握するため。

3 説明要旨

民間事業者と協定して粗大ごみ対策を強化し、LINE 配信や HP の掲示の仕方の工夫等による効果的周知を実施。さらに、分別・減量教育としてワークブックを全小学4年生に配布し、毎年改定して授業で活用するなど次世代育成にも力を入れている。

4 主な質疑応答

連携協定の締結経緯、周知方法、ワークブック改定の運用、教育現場の活用状況などを確認した。民間と連携した効率化や継続的な教材改善が、ごみ減量と理解促進に効果を上げているとの説明を受けた。

5 委員の考え方・本市への参考点

本市も連携協定はあるが、周知方法に改善余地があり、筑後市の積極的な情報発信は参考となる。また小学4年生向けワークブックの継続改定と実践活用は効果的で、本市も筑後市の例を参考に、実践的な、ごみ分別減量教育推進が望まれる。

◆ 福岡県宗像市①

【日時】令和7年11月12日（水）10：30～

【会場】子どもの自立サポートセンター 「ホープ」

【内容】①病児保育お迎えサービスについて

【説明者】宗像市 子ども子育て部 子ども育成課 課長 許斐 知加

1 市の概要

令和7年10月末現在 人口：45,796人 面積：119.94km²

2 視察の目的

宗像市が実施する「病児保育のお迎えサービス」の運用実態、制度設計、利用状況および課題を調査し、本市における子育て支援および病児保育体制充実の参考とするため。

3 説明要旨

宗像市では、市内の病児保育室「めばえ」において、保護者の就労支援と子どもの安全確保を目的に病児保育のお迎えサービスを実施している。

(1)背景

市民アンケートにより、子どもの発熱等で「仕事を休めない」「代替のケア者がいない」という課題が顕在化した。特に母親の負担が大きく、保育所側でも保護者到着までの対応に苦慮していたことが導入の契機となった。

(2)仕組み

- ・保護者が病児保育室に連絡すると、看護師または保育士がタクシーで保育所等へ迎えに行く。
- ・病児保育室到着後、小児科医が診察し、夕方まで預かり。
- ・事前登録と同意書提出が必須で、当日登録は不可。

(3)効果

- ・保護者：仕事と育児の両立支援、急な呼び出し負担の軽減。
- ・子ども：早期の医療的ケアが受けられる。
- ・保育所：感染リスクと職員負担の軽減。
- ・市：子育てに優しいまちのブランド向上。

(4)予算と運用

- ・費用負担：国・県・市で1/3ずつ。

- ・利用料：1回1,000円（タクシー代含む一律）。
- ・利用実績：令和5年度は21件で、想定通りの利用規模。
- ・登録者数：約160名。アレルギー等を面談で確認し安全管理を徹底。

4 主な質疑応答

Q：登録方法と周知は？

A：事前登録制。面談で子どもの特性を把握。現在160名登録。安全確保のため簡素化の予定はない。

Q：財源と補助金の活用は？

A：国の補助事業枠内で運用可能。市負担は全体の1/3である。

Q：利用増への対応は？

A：予約が取りにくい状況があり、定員増や施設拡充を検討中。令和8年度からは対象を小学生まで拡大予定である。

Q：タクシー代の扱いは？

A：施設が立替払いし、保護者から1,000円を徴収。残額は市が補助金で精算している。

Q：通常の病児保育との違いは？

A：通常利用（保護者送迎）は無料（県の無償化事業対象）だが、お迎えサービス利用時は1,000円が必要である。

5 委員の考え方・本市への参考点

- ・病児保育のお迎えサービスは、「働く親を支える実践的支援」として効果的であり、単身家庭や共働き世帯の急な発熱対応に有効である。
- ・導入にあたっては、事前登録制度による安全確保と、看護師・保育士による医療的対応が重要な要素である。
- ・国・県・市の補助（各1/3）による費用分担は、財政的に持続可能なモデルであり、本市でも導入可能性を検討できる。
- ・利用増による予約逼迫や対象拡大に伴う人員・施設整備など、今後の課題

も共有された。

- ・本市においても、病児保育と送迎支援を一体化した支援体系を構築することは、共働き世帯支援・子育て支援の充実につながると考えられる。

◆ 福岡県宗像市②

【内容】子どもの自立サポートセンター「ホープ」について

【説明者】宗像市 子ども子育て部 子ども支援課 課長 恵谷 英之
子どもの自立サポートセンター ホープ 所長 吉武 研二

1 視察の目的

宗像市が実施している不登校支援の取組、とりわけ子どもの自立サポートセンター「ホープ」を中心とした支援体制・家庭訪問事業の仕組みを調査し、本市における不登校支援及び居場所づくり施策の参考とするため。

2 説明要旨

宗像市では不登校児童生徒の割合が全国平均より高く、令和5年度には小学生1,000人あたり17.3人、中学生65.0人が不登校という状況である。市は次の3施設を中心に、教育委員会・関係機関と連携した包括的な支援体制を構築して対応している。

(1) エール（適応指導教室）

平成10年開設。学校復帰を目的とし、教科学習や体験活動を実施。職員は「先生」と呼ばれている。

(2) ホープ（子どもの居場所）

令和5年4月に開設した。旧ふるさと茶屋を活用し、学校復帰を目的とせず、安心して過ごせる場を提供。職員はキャンプネームで呼び合い、学校的要素を排除。発達障害などデリケートな問題を抱える子どもを対象としている。運営費は「エール」と合わせ約5,400万円（うち約1,200万円は子ども家庭庁補助金）。

(3) 玄海の家 (Ghot GKI)

令和5年9月よりひきこもり支援を開始した。令和6年度から市職員を派遣し、連携を強化した。

これらの施設は体験活動の多様化(農業体験・プール活動など)、情報共有、合同研修等を通じて緊密に連携し、市全体で子どもを支えるネットワークを形成している。

また、令和6年度からは「ホープ」を本部として家庭訪問事業を展開。家から出られない子どもや保護者に支援員が訪問し、「ホープ」等の外部支援へつなげる。支援員はSSWや訪問看護などとも連携し、複合的支援を実施している。

3 主な質疑応答

Q：運営体制や職員の位置づけは？

A：支援員は異動のない専門職として採用。社会福祉士や保健師、養護教諭などの資格を有する職員やスーパーバイザーを配置している。組織として重視されている事業である。

Q：成果や課題は？

A：令和5年度、3施設合計で86名を支援（市内不登校児童生徒275名の約1/3）している。

・エール：在籍34名中19名が学校復帰（55.9%）

・ホープ：在籍37名中2名が学校復帰、約4割が時々登校可能に

・中学3年生は全員進学。

保護者からも「表情が明るくなった」「会話が増えた」など前向きな変化が多数ある。

Q：エールとホープの子どもの交流の効果は？

A：属性が異なる子どもが同じ体験活動をすることで仲間がいるという認識を持ち、仲良くなれる。メリットしかない。

4 委員の考え方・本市への参考点

- (1) 宗像市では、「学校復帰を目指す場」と「安心して過ごす場」を明確に区分し、子どもの多様なニーズに応じた支援体制を構築している点が特徴的である。
- (2) 特に「ホープ」が果たす“非学校的な居場所”の役割は、学校に行けない・行きたくない子どもへの心理的安全を確保し、自立や社会的関係の再構築を支援するモデルとして注目される。本市にも登校刺激を行わず、安心して過ごせる場所が必要と考える。
- (3) 家庭訪問事業を通じ、学校が接点を持ってない家庭にも支援が届く体制は有効であり、本市でも導入を検討する価値がある。
- (4) 採用の時点で吟味することで適切な人材確保に努めている点が印象に残った。
- (5) 不登校対策事業は、学校復帰が成果目標になりがちだが、児童生徒の気持ちの変化(表情の改善、学習活動に前向き、外出の機会が増えた、情緒の安定)を保護者面談等の分析により数値化し成果としている点が事業を評価する上で重要であると感じた。
- (6) ホープは、吉武所長の人間性に支えられている面も大きいように受け止めたが、市としての意思というものも強く、職員の皆さんの熱意もひしひしと伝わった。市としての方向性をしっかり確立していれば、属人的にならなくても持続可能であり、本市でも実現可能性は高いように思った。

民生教育委員会行政視察行程表

◎参加者9名〔委員8名〕松田委員長、門脇副委員長、伊藤委員、岡田委員、又野委員、矢田貝委員、吉岡委員、渡辺委員（下線委員は伯耆大山駅乗降）
 ※伊藤委員は、最終日の視察後、他の公務へ出発（赤間駅まで同行）◆随行・田淵

月 日	行 程
11/10 (月)	7:30 7:35 7:36 9:47 9:58 11:39 11:51 12:37 12:45 13:00 13:50 14:05 米子駅 = 伯耆大山駅 = 岡山駅 ===== 博多駅 ===== 新飯塚駅・(改札・迎え) ~ (昼食) ~ 飯塚市・頼田一貫校 JR 特急やくも6号〔X→3〕 JR 新幹線のぞみ105号(博多行)〔22→16〕 JR 福北ゆたか線快速(直方行)〔8→X〕 飯塚市送迎 ◎福岡県飯塚市行政視察（午後2時15分から1時間20分程度） [調査項目] 小中一貫教育について（現地視察：小中一貫校・^{かい}頼田校） 15:35 15:50 16:01 16:53 17:06 17:23 17:42 17:53 17:55 17:57 頼田一貫校 == 新飯塚駅 ===== 博多駅 ===== 久留米駅 ===== 羽犬塚駅 ===== ホテル 飯塚市送迎 JR 福北ゆたか線(博多行)〔X→8〕 JR 新幹線つばめ331号(熊本行)〔11→12〕 JR 鹿児島本線区間快速(羽犬塚行)〔3→X〕 徒歩約2分
11/11 (火)	9:30 9:32 9:49 9:56 10:00 10:15 ホテル == 羽犬塚駅 ===== 瀬高駅 == バイオマスセンター・ルフラン 徒歩約2分 JR 鹿児島本線区間快速(熊本行)〔X→3〕 みやま市送迎 ◎福岡県みやま市行政視察（午前10時30分から1時間30分程度） [調査項目] 生ごみの資源循環の取組（家庭系紙オムツのリサイクルの取組を含む）＋工場見学 12:05 12:20 13:10 13:16 13:24 13:30 13:32 13:37 バイオマスセンター ===== 昼食会場 ~~~~~ 瀬高駅 ===== 羽犬塚駅 ~~~~~ 筑後市役所 みやま市送迎 徒歩約6分 JR 鹿児島本線区間快速(鳥栖行)〔1→X〕 筑後市送迎 ◎福岡県筑後市行政視察（午後2時00分から1時間30分程度） [調査項目] リユース（再使用）の取組について 15:35 15:45 16:14 16:39 16:45 16:50 市役所 == 筑後船小屋駅 ===== 博多駅 ~~~ (駅西8出口) ~~~ ホテル 筑後市送迎 JR 新幹線つばめ324号(博多行)〔X→11〕 徒歩約5分

11/12 (水)	9:00	9:05	9:28	10:02	10:05	10:20							
	ホテル	～～～	博多駅	＝＝＝＝＝＝＝＝＝	赤間駅(改札・迎えあり)	～～～～～宗像市「ホープ」							
	徒歩約5分		JR 鹿児島本線区間快速(門司行) [2→×]		宗像市送迎								
	◎福岡県宗像市行政視察 (午前10時30分から1時間30分程度) [調査項目] ①子どもの自立サポートセンター「ホープ」について ②病児保育のお迎えサービスについて												
	12:00	12:15	13:15	13:21	13:41	14:07	14:31	15:57	16:13	18:24	18:25	18:30	
	ホープ	===	(昼食会場)	～～～	赤間駅	＝＝＝＝＝＝＝＝＝	小倉駅	＝＝＝＝＝＝＝＝＝	岡山駅	＝＝＝＝＝	伯耆大山駅	===	米子駅
	宗像市送迎		徒歩約6分		JR 特急ソニック27号(大分行) [1or2→7]		JR 新幹線のぞみ36号(東京行) [13→23]		JR 特急やくも19号(出雲市行) [2→×]				

旅費計算表

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	令和7年11月10日 ～		令和7年11月12日		(2泊3日)	
							急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルプラン見学
							特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	米 子 駅 ～ 岡 山 駅	JR	159.1		18,390		2,730		1,600円	25,000円	18,000円	
(月)	岡 山 駅 ～ 博 多 駅	JR	442.0					5,890				
	博 多 駅 ～ 新 飯 塚 駅	JR	34.6									
	(用 務)											
	新 飯 塚 駅 ～ 博 多 駅	JR	34.6		870							
	博 多 駅 ～ 久 留 米 駅	JR	70.3		※往復運賃			1,920				
	久 留 米 駅 ～ 羽 犬 塚 駅	JR	12.2									
11/11	羽 犬 塚 駅 ～ 瀬 高 駅	JR	6.1		※往復運賃				1,600	16,200	16,200	1,000
(火)	(用 務)											
	瀬 高 駅 ～ 羽 犬 塚 駅	JR	6.1									
	(用 務)											
	筑後船小屋駅 ～ 博 多 駅	JR	51.5		240			1,920				
※	筑後船小屋駅 ～ 羽 犬 塚 駅	JR	3.6									
11/12	博 多 駅 ～ 赤 間 駅	JR	31.7		※往復運賃							
(水)	(用 務)											
	赤 間 駅 ～ 小 倉 駅	JR	35.5				1,130					
	小 倉 駅 ～ 岡 山 駅	JR	374.8					5,230				
	岡 山 駅 ～ 米 子 駅	JR	159.1				2,730					
計	議 員 旅 費			69,020	20,370	0	6,590	14,960	3,200	22,900		1,000
	随 行 旅 費			69,020	20,370	0	6,590	14,960	3,200		22,900	1,000

出席議員：松田委員長

随行者：田淵

委員旅費 69,020 × 1名 = 69,020 円

随行旅費 69,020 × 1名 = 69,020 円

※往復切符で折り返し乗車ができないため計上

138,040 円

民生教育委員会・行政視察
福岡県飯塚市、福岡県みやま市、福岡県筑後市、福岡県宗像市

旅費計算表(米子駅乗降者分)

月	日	区間	鉄道路線 名	区 間 数 キ ロ	目的地までの 数 キ ロ	運 賃	グリーン	令和7年11月10日 ～		令和7年11月12日		(2泊3日)	
								急行料金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルプラン見学
								特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	(月)	和田浜駅～米子駅	JR	9.7		210				1,600円	25,000円	18,000円	
		米子駅～岡山駅	JR	159.1		18,390		2,730		1,600	6,700	6,700	
		岡山駅～博多駅	JR	442.0					5,890				
		博多駅～新飯塚駅	JR	34.6		870							
		(用務)											
		新飯塚駅～博多駅	JR	34.6		870							
		博多駅～久留米駅	JR	70.3		※往復運賃			1,920				
		久留米駅～羽犬塚駅	JR	12.2									
11/11	(火)	羽犬塚駅～瀬高駅	JR	6.1						1,600	16,200	16,200	1,000
		(用務)											
		瀬高駅～羽犬塚駅	JR	6.1		※往復運賃							
		(用務)											
		筑後船小屋駅～博多駅	JR	51.5					1,920				
※		筑後船小屋駅～羽犬塚駅	JR	3.6		240							
11/12	(水)	博多駅～赤間駅	JR	31.7									
		(用務)											
		赤間駅～小倉駅	JR	35.5		※往復運賃		1,130					
		小倉駅～岡山駅	JR	374.8					5,230				
		岡山駅～米子駅	JR	159.1				2,730					
		米子駅～和田浜駅	JR			210							
計		議員旅費			69,440	20,790	0	6,590	14,960	3,200	22,900		1,000
		随行旅費			69,230	20,580	0	6,590	14,960	3,200		22,900	1,000

出席議員：門脇副委員長

委員旅費 69,440 × 1名 = 69,440 円

※往復切符で折り返し乗車ができないため計上 69,440 円

旅費計算表

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	令和7年11月10日 ～		令和7年11月12日		(2泊3日)	
							急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルフラン見学
							特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	米 子 駅 ～ 岡 山 駅	JR	159.1		10,100		2,730		1,600円	25,000円	18,000円	
(月)	岡 山 駅 ～ 博 多 駅	JR	442.0					5,890		6,700		
	博 多 駅 ～ 新 飯 塚 駅	JR	34.6									
	(用 務)											
	新 飯 塚 駅 ～ 博 多 駅	JR	34.6		870							
	博 多 駅 ～ 久 留 米 駅	JR	70.3		※計上済			1,920				
	久 留 米 駅 ～ 羽 犬 塚 駅	JR	12.2									
11/11	羽 犬 塚 駅 ～ 瀬 高 駅	JR	6.1		※計上済				1,600	16,200		1,000
(火)	(用 務)											
	瀬 高 駅 ～ 羽 犬 塚 駅	JR	6.1		1,930							
	(用 務)											
	筑後船小屋駅 ～ 博 多 駅	JR	51.5					1,920				
	※筑後船小屋駅 ～ 羽 犬 塚 駅	JR	3.6		240							
11/12	博 多 駅 ～ 赤 間 駅	JR	31.7		※計上済							
(水)	※博多駅～赤間駅	JR	31.7		760							
	(防災安全課所管の公務へ)											
計	議 員 旅 費			54,330	14,770	0	2,730	9,730	3,200	22,900		1,000
	随 行 旅 費					0						

出 席 議 員 :伊藤委員

委員旅費

54,330 ×1名＝

54,330 円

54,330 円

※(筑後船小屋駅⇒羽犬塚駅)往復切符で折り返し乗車ができないため計上

※(博多駅⇒赤間駅)11日及び12日の連続使用を想定して瀬高駅から赤間駅間の切符を購入。11日に博多駅で途中下車したところ、12日にこの切符が使用できないことが判明。その場でJRに確認したが、払い戻し不可とのことで「博多駅⇒赤間駅間」の切符を再購入した。

民生教育委員会・行政視察
福岡県飯塚市、福岡県みやま市、福岡県筑後市、福岡県宗像市

旅費計算表

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	令和7年11月10日 ～		令和7年11月12日		(2泊3日)	
							急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルプラン見学
							特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	富士見町駅～米子駅	JR	1.5		150				1,600円	25,000円	18,000円	
(月)	米子駅～岡山駅	JR	159.1		18,390		2,730		1,600	6,700	6,700	
	岡山駅～博多駅	JR	442.0					5,890				
	博多駅～新飯塚駅	JR	34.6		870							
	(用務)											
	新飯塚駅～博多駅	JR	34.6		870							
	博多駅～久留米駅	JR	70.3		※往復運賃			1,920				
	久留米駅～羽犬塚駅	JR	12.2									
11/11	羽犬塚駅～瀬高駅	JR	6.1						1,600	16,200	16,200	1,000
(火)	(用務)											
	瀬高駅～羽犬塚駅	JR	6.1		※往復運賃							
	(用務)											
	筑後船小屋駅～博多駅	JR	51.5					1,920				
※	筑後船小屋駅～羽犬塚駅	JR	3.6		240							
11/12	博多駅～赤間駅	JR	31.7									
(水)	(用務)											
	赤間駅～小倉駅	JR	35.5		※往復運賃		1,130					
	小倉駅～岡山駅	JR	374.8					5,230				
	岡山駅～米子駅	JR	159.1				2,730					
	米子駅～富士見町	バス	1.8		170							
計	議員旅費			69,340	20,690	0	6,590	14,960	3,200	22,900		1,000
	随行旅費			69,190	20,540	0	6,590	14,960	3,200		22,900	1,000

出席議員：岡田委員

委員旅費 69,340 × 1名 = 69,340 円

※往復切符で折り返し乗車ができないため計上 69,340 円

民生教育委員会・行政視察
福岡県飯塚市、福岡県みやま市、福岡県筑後市、福岡県宗像市

旅費計算表

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	令和7年11月10日 ～		令和7年11月12日		(2泊3日)	
							急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルプラン見学
							特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	伯耆大山駅～岡山駅	JR	159.1		18,390		2,730		1,600	25,000円	18,000円	
(月)	岡山駅～博多駅	JR	442.0					5,890		6,700		
	博多駅～新飯塚駅	JR	34.6									
	(用務)											
	新飯塚駅～博多駅	JR	34.6		870							
	博多駅～久留米駅	JR	70.3		※往復運賃			1,920				
	久留米駅～羽犬塚駅	JR	12.2									
11/11	羽犬塚駅～瀬高駅	JR	6.1		※往復運賃				1,600	16,200		1,000
(火)	(用務)											
	瀬高駅～羽犬塚駅	JR	6.1									
	(用務)											
	筑後船小屋駅～博多駅	JR	51.5		240			1,920				
※	筑後船小屋駅～羽犬塚駅	JR	3.6									
11/12	博多駅～赤間駅	JR	31.7		※往復運賃							
(水)	(用務)											
	赤間駅～小倉駅	JR	35.5				1,130					
	小倉駅～岡山駅	JR	374.8					5,230				
	岡山駅～伯耆大山駅	JR	159.1				2,730					
計	議員旅費			69,020	20,370	0	6,590	14,960	3,200	22,900		1,000
	随行旅費											

出席議員：又野委員

委員旅費 69,020 × 1名 = 69,020 円
別途旅費 100 円 (=2km×2×25円)
駐車場代 1,200 円

※往復切符で折り返し乗車ができないため計上 70,320 円

民生教育委員会・行政視察
福岡県飯塚市、福岡県みやま市、福岡県筑後市、福岡県宗像市

旅費計算表

令和7年11月10日 ～

令和7年11月12日

(2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルプラン見学
							特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	伯耆大山駅～岡山駅	JR	159.1		18,390		2,730		1,600	6,700		
(月)	岡山駅～博多駅	JR	442.0					5,890				
	博多駅～新飯塚駅	JR	34.6									
	(用務)											
	新飯塚駅～博多駅	JR	34.6		870							
	博多駅～久留米駅	JR	70.3		※往復運賃			1,920				
	久留米駅～羽犬塚駅	JR	12.2									
11/11	羽犬塚駅～瀬高駅	JR	6.1		※往復運賃				1,600	16,200		1,000
(火)	(用務)											
	瀬高駅～羽犬塚駅	JR	6.1									
	(用務)											
	筑後船小屋駅～博多駅	JR	51.5		240			1,920				
※	筑後船小屋駅～羽犬塚駅	JR	3.6									
11/12	博多駅～赤間駅	JR	31.7		※往復運賃							
(水)	(用務)											
	赤間駅～小倉駅	JR	35.5				1,130					
	小倉駅～岡山駅	JR	374.8					5,230				
	岡山駅～伯耆大山駅	JR	159.1				2,730					
計	議員旅費			69,020	20,370	0	6,590	14,960	3,200	22,900		1,000
	随行旅費											

出席議員:矢田貝委員

委員旅費 69,020 × 1名 = 69,020 円

※往復切符で折り返し乗車ができないため計上 69,020 円

民生教育委員会・行政視察
福岡県飯塚市、福岡県みやま市、福岡県筑後市、福岡県宗像市

旅費計算表

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	令和7年11月10日 ～		令和7年11月12日		(2泊3日)	
							急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルフラン見学
							特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	伯耆大山駅～岡山駅	JR	159.1		18,390		2,730		1,600	25,000円	18,000円	
(月)	岡山駅～博多駅	JR	442.0					5,890		6,700		
	博多駅～新飯塚駅	JR	34.6									
	(用務)											
	新飯塚駅～博多駅	JR	34.6		870							
	博多駅～久留米駅	JR	70.3		※往復運賃			1,920				
	久留米駅～羽犬塚駅	JR	12.2									
11/11	羽犬塚駅～瀬高駅	JR	6.1		※往復運賃				1,600	16,200		1,000
(火)	(用務)											
	瀬高駅～羽犬塚駅	JR	6.1									
	(用務)											
	筑後船小屋駅～博多駅	JR	51.5		240			1,920				
※	筑後船小屋駅～羽犬塚駅	JR	3.6									
11/12	博多駅～赤間駅	JR	31.7		※往復運賃							
(水)	(用務)											
	赤間駅～小倉駅	JR	35.5				1,130					
	小倉駅～岡山駅	JR	374.8					5,230				
	岡山駅～伯耆大山駅	JR	159.1				2,730					
計	議員旅費			69,020	20,370	0	6,590	14,960	3,200	22,900		1,000
	随行旅費											

出席議員：吉岡委員

委員旅費 69,020 × 1名 = 69,020 円
別途旅費 150 円 (=3km×2×25円)
駐車場代 1,200 円

※往復切符で折り返し乗車ができないため計上 70,370 円

民生教育委員会・行政視察
福岡県飯塚市、福岡県みやま市、福岡県筑後市、福岡県宗像市

旅費計算表

令和7年11月10日 ～

令和7年11月12日

(2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 数 キ ロ	目的地までの 数 キ ロ	運 賃	グリーン	急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿泊費(福岡県)		視察手数料 みやま市 ルプラン見学
							特 別	新 幹 線		議員上限	随行上限	
11/10	伯耆大山駅～岡山駅	JR	159.1		18,390		2,730		1,600	6,700		
(月)	岡山駅～博多駅	JR	442.0					5,890				
	博多駅～新飯塚駅	JR	34.6									
	(用務)											
	新飯塚駅～博多駅	JR	34.6		870							
	博多駅～久留米駅	JR	70.3		※往復運賃			1,920				
	久留米駅～羽犬塚駅	JR	12.2									
11/11	羽犬塚駅～瀬高駅	JR	6.1		※往復運賃				1,600	16,200		1,000
(火)	(用務)											
	瀬高駅～羽犬塚駅	JR	6.1									
	(用務)											
	筑後船小屋駅～博多駅	JR	51.5		240			1,920				
※	筑後船小屋駅～羽犬塚駅	JR	3.6									
11/12	博多駅～赤間駅	JR	31.7		※往復運賃							
(水)	(用務)											
	赤間駅～小倉駅	JR	35.5				1,130					
	小倉駅～岡山駅	JR	374.8					5,230				
	岡山駅～伯耆大山駅	JR	159.1				2,730					
計	議員旅費			69,020	20,370	0	6,590	14,960	3,200	22,900		1,000
	随行旅費											

出席議員：渡辺委員

委員旅費 69,020 × 1名 = 69,020 円

別途旅費 700 円 (=14km × 2 × 25円)

※往復切符で折り返し乗車ができないため計上

69,720 円

民生教育委員会・行政視察
福岡県飯塚市、福岡県みやま市、福岡県筑後市、福岡県宗像市